



学校だより



NO.6
東京女学館小学校
令和7年9月16日

学びが生きるとき

校長 盛永裕一

新規採用教員の時、当時の教頭先生が私に「こんなことを尋ねてきました。「ある有名な建築家が、小学校で学んだ算数は何も役に立っていない」と言っています。盛永さん、どう思う？」余裕なく、ただ一生懸命教えることだけを考えていた私は、言葉に詰まりました。教頭先生は、「こう続けておっしゃいました。「今日学んだことが、からだの肉や血液になっているかはわからない。学びとは、何年もたつてから評価できるものだよ。」と教えてくださいました。

夏休み、私はタスマニア海外研修に同行しました。六年生二十名の参加者は、その使命を見事やり遂げたのです。

現地の私立女子校フーン校との交流では、日本文化を伝える場面がありました。日本の観光地や日本食、スポーツ選手などを伝えるために、インターネットで調べたり、プレゼンにまとめたり。これは、本校の特色ある教育活動の一つ「ばさこの学び」が生きていた場面です。また、発表する内容を日本語から英語に直して伝えなければいけません。これは「どびら」の学びに関係します。さらに、日本文化「茶道」や「着付け」を実際に伝える時間は、まさに「すずかけ」の学びが直接生きた場面です。

研修期間は、様々なグループで活動します。また、空港やレストランなどの公共の場で日本人として振る舞います。グループ活動では、相手を敬う「思いやり」が、公共の場では「マナー」が大切になるのです。これは、一年生からの道徳の授業が生きています。

研修の途中で、現地のスーパーに行き買い物をしたり、家族にお土産を買ったりする場面がありました。持っているお金で足りるかどうかが、値段を見積もる必要があります。これは、四年生の算数の概数の学習が生きているのです。

この海外研修は、事前研修から様々な課題に取り組み、解決していかなければいけない場面がたくさんありました。プレゼンの構成を考えること、ホテルでの過ごし方、ホームステイ先でのコミュニケーションの取り方など、問題解決の連続です。問題が発生したとき、課題を的確に把握し、解決の方策を考え、自分で解決できないときはお友達たちと協力して取り組む。その繰り返しです。これはまさに、日頃の学習の集大成といえる力なのです。国語の授業で、叙述に即して考え主題に迫ります。音楽の授業では、お友達の音に合わせて合奏します。理科の授業では、実験方法を考え結果を予想するのです。授業での学びの集合体といえるのが問題解決力なのです。様々な問題を意欲的に解決していき、研修をやり遂げた子どもたち

学校では二学期が始まりました。今日学んだことが、すぐには力となって視覚化することは限りませんが、学校では日頃の授業を大切に積み重ねていきます。



総括部長

軽井沢クラブ合宿

5、6年生が3期に分かれて、2泊3日のクラブ合宿を行いました。学年の枠を超えて普段のクラブ活動ではできない様々な体験をし、充実した時間を過ごしました。運動部の児童は自分たちでも驚くほど上達しました。文化系のクラブの児童は、素晴らしい作品を仕上げたり、演奏の技術が向上したりしました。じっくりと活動することで大きな成果を上げることができました。各クラブとも食事当番やお掃除に積極的に取り組み、5、6年生の枠を超えて助け合って、生活する姿は大変頼もしかったです。軽井沢の美味しい空気と緑に囲まれ、一回り成長した高学年のお姉さんたちは、2学期からも学校を支えていく頼りになる存在として活躍してくれることでしょう。

タスマニア海外研修 (7月20日～7月30日) 国際室 教諭

7月20日から30日までの10日間、6年生20名がオーストラリア・タスマニアでの海外研修に参加し、現地の名門女子校フーンスクールとの交流を行いました。登校初日、子どもたちは緊張した様子でしたが、全校児童の前で堂々と自己紹介をし、日本食や観光地などの紹介をすることができました。グループごとの発表が終わるたびに、会場には驚きと大きな拍手が広がり、子どもたちは誇らしげな表情を見せていました。「Japanese Day」では、これまで「すずかけ」の授業で学んできた茶道、着付け、日本舞踊といった日本の伝統文化を、自らの言葉や動作で伝える貴重な体験をしました。英語やジェスチャーを駆使して一生懸命に伝えようとする姿からは、「自分の思いを届けたい」という強い気持ちが伝わってきました。さらに、子どもたちはホームステイ先での生活や現地校での活動を通して、オーストラリアの文化や価値観、自然の豊かさに直接触れる有意義な時間を過ごしました。異文化の中で英語でのやり取りに挑戦し、自分の思いを伝えることの大切さや、相手の文化を尊重する姿は、とても頼もしく感じられました。週明けに登校した子どもたちの表情からは、充実した時間を過ごしたことが伝わってきました。今回の研修を通じて、子どもたちは語学力だけでなく、「伝えたい」「理解したい」という気持ちの大切さを学び、国際的な視野や自信をもつ大きなきっかけを得たことと思います。この経験を、今後の学校生活や学びに生かしてくれることを期待しています。

1期 (8月3日～5日)
科学・剣道
卓球・音楽
プログラミング

2期 (8月5日～7日)
テニス・手芸料理
バレーボール
バドミントン

3期 (8月7日～9日)
絵画・バスケットボール
サッカー・バトン
お箏・レクリエーション



参加児童の感想より 6B 児童

本当にタスマニアに行ってきたと思います。友達を作るためにどんなことを言えばいいのかわからなかったけど、動物園でFahanの子から「Come on」と言ってくれて一緒に回ることができてとてもうれしかったです。Home Stayではお母さんやお父さん、ご兄弟が優しく、ゆっくりお話をしてくれて親切でした。もうあつという間だなど思い、すごく悲しいです。でも、私はタスマニアに行ったということを忘れないで、もうちょっと英語を勉強して年をとった時にまたタスマニアに行きたいです。



FUJI イングリッシュキャンプ (7月21日～23日) 国際室長

7月21日～23日の2泊3日、山梨県の「Fuji Premium Resort」にてEnglish Campを行い、5・6年生55名が参加しました。このキャンプでは、1グループ4～5名に分かれて、アメリカ、イギリス、フィリピン、トルコなど、様々な国のネイティブティーチャーと一緒に学びを深めました。プログラムの一つである「English World」では、ネイティブティーチャーが運営するお店や、病院、映画館などを訪れて、実際に外国で使用する英会話を学びました。その他にも、トレジャーハントや東京女学館小学校の学校紹介もしました。グループ担当の講師の先生の名前を漢字で書いて、色紙をプレゼントした際は、大変喜んでいらっしゃいました。この3日間の経験が外国の方々と臆することなく交流するための自信に繋がることと思います。

参加児童の感想より

英語劇は本当に楽しく、5年生でもらえなかった賞をもらえてうれしかったです。覚えた単語、英文を自分から使う、そして、この合宿で聞いたネイティブティーチャーのまねをしながら発音をきれいにすることが私の目標です。

6B 児童

私は劇でシンデレラをしました。オーバーリアクションをすることで、分かりやすいおもしろいえんぎになったと思います。英語が分からなくても、がんばって分かる言葉で伝えることを心がけました。

5B 児童



合同防災訓練・児童引き渡し訓練 (9月3日) 生活指導部長

9月3日(水)の昼休み(12時～)、小中高合同の防災訓練を行いました。地震発生後、校内で火災が起きたという想定で、全校児童が体育館に避難をしました。小学校のみの避難訓練は毎年4回ずつ行っていますが、小中高合同での訓練は9月の1回のみです。いつもと少し異なる放送にもしっかり耳を傾け、「おかしも」を心がけて落ち着いて行動することができました。中、高校では小学校にいる妹がいる生徒がいざという時に迎えに行くことができるように、妹の教室まで行き、名簿の確認をいたしました。

また同日14時から、小学校では大規模地震対策特別措置法に基づく警戒宣言が発せられた場合の児童引き渡し訓練を行いました。今年度の引き渡し訓練の対象は1、3、5年生でしたが、全教職員で校内の防災組織を確認し、予知観測の整備、引き渡しの準備をいたしました。対象学年の保護者の皆様には猛暑の中、訓練にご協力いただき、ありがとうございました。無事滞りなく安全に引き渡すことができました。

防災週間であった、この9月のはじめにご家庭でも様々な自然災害への備えについて、お子様とお話し合ってください。



プール開放 (7月22日～26日)

体育科 教諭

7月22日(火)から26日(土)にかけてプール開放を実施しました。今年もリボンの会代表者の皆様へ受付のご協力をいただき、心より感謝申し上げます。1年生から4年生はクラスごとに参加日を分けて3日間、5・6年生は5日間の参加となり、延べ495名の児童が元気いっぱいプールでの活動を楽しみました。水深の異なるプールでは、学年ごとに決められたエリア内で、約束を守り安全に遊ぶ姿が見られました。ビーチボールでドッジボールや鬼ごっこをしたり、キューブやリングを使った宝探しをしたりと、遊びの工夫も多種多様でした。お友達と仲良く、夢中になって遊ぶ時間はあっという間に過ぎたことでしょう。中には、もぐる練習やバタ足、背泳ぎ・平泳ぎなど、泳ぎの練習に励む様子もありました。この楽しい経験が、2学期の水泳実習への意欲につながっていることと思います。今後の成長がますます楽しみです。



全館研修

研究部長

8月30日(土)に夏期全館研修会を行いました。今年度は、「生成AI及びICT活用」をテーマに掲げ、田中善将先生(スクールエージェント株式会社代表取締役)と前多昌顕先生(五所川原市立五所川原小学校教諭)を講師にお迎えし、実践重視の研修を行うことができました。先生方の中には、生成AIの可能性を認識しつつも安全かつ倫理的に活用できるのかという不安から利用に消極的な面があったという人も多かったのですが、研修後には「児童生徒と楽しい授業が作れそうだ」「授業方法の可能性が広がった」「生成AIが身近に感じた。」などの感想を共有することができました。女学館にとって有意義な時間となりました。

入試説明会・授業公開

9月7日(日)に、受験生保護者対象の入試説明会を実施しました。夏休み明けの酷暑や台風など悪天候が続く時季であることを鑑みて、オンライン利用で行いました。当日は、校長先生のお話の後、「教育の特色」「安全管理と給食について」の説明を通して、東京女学館小学校をご紹介します。そして、入学試験に対する考え方と出願方法を説明。1時間あまりでしたが、ご参加の方々とのつながりを深める時とすることができたように感じております。12日(金)には授業公開を実施しました。約500名の参加者は、2時間、12学級の授業や特色としているすずかけ授業(お筆)を見学され、児童や先生方の姿を間近にご覧になりました。本校の空気を直に感じられたことで、説明会で得られた情報をより深く腑に落ちる理解にさせていただくと存じます。お子様の教育について学校と同じ方向を向かれたご家庭をお迎えできますよう、今後も受験生保護者の皆様にも、本校理解を深めていただける機会を大切にまいります。

小学校 教頭 下田 栄子

日私小連全国教員夏季研修会

研究部 教諭

8月18日から20日の3日間、全国の私立小学校教員約1000人が横浜に集まり、夏季研修会が開催されました。本校からも9名の先生方が参加しました。研修では、関東地区にある小学校の先生と子どもたちが授業をしてくださったり、その授業を見て先生方で授業について話し合ったり、横浜の施設や工場を見学し地域の文化を学んだり、様々な活動を通して、教師としての学びを一層深めてまいりました。学校や地域ごとにそれぞれの建学の精神や特色をもつ私立学校。その先生方が一堂に会すると、多様な考えが交わり、豊かな学びが生まれます。子どもたちも教員も、日々学んでいます。私たちも、研修での成果を2学期からの授業に生かし、子どもたちに還元していきたいと思っております。

9月の生活目標：忘れものをしないようにする

夏休みが終わり、新学期を迎えました。学校生活において、持ち物をしっかり準備し、環境を整えることはとても大切なことです。学習に集中でき、良い影響をもたらします。学校では連絡帳や休み時間の活用など、忘れ物をしない工夫をくり返し指導しています。翌日の時間割を見ながら学校生活を思い描いて支度ができるとうれいです。ご家庭でもお子様が意欲的に学校生活に取り組めるこの時期に、整理整頓や早めの準備など、声をかけていただきますようお願い申し上げます。

身だしなみのよい子(児童手帳P.12～13)

- ・髪型 … 前髪の長さ、二つ結び、三つ編みのきまりを守りましょう。ゴムの色は黒色のみです。
- ・服装 … スカートの丈は、ひざがかくれる長さにします。靴下は三つ折りにします。
- ・運動着 … 清潔なものを用意します。下着の裾をズボンの中に入れ、えりを整えましょう。

学校の持ち物(児童手帳P.16～17)(保護者のしおりP.9)

- ・学習に必要なものは持ってきません。学用品(鉛筆、鉛筆キャップ、定規、下敷き等)は基本的に無地のものを使用します。リボンの会の製品は使用しても良いです。
- ・かばん(赤いかばん、ランドセル)につけるキーホルダーは目印用に地味なものです。ぬいぐるみや遊ぶおもちゃのキーホルダー、大きな飾りのものは学校生活にふさわしくありません。登下校での危険防止のため、かばんの内側に入れます。赤いかばんとランドセル以外のバッグや定期券ケース等にはキーホルダーをつけません。
- ・通学時の手さげかばんは、いつも赤いかばんを使用します。荷物が多い時はトートバッグも使用して良いです。



9月の行事



「行事予定」は非公開とさせていただきます。